

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

1. 事業名称 定住する外国につながる若者への日本語教育支援事業

2. 事業の目的 神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等)を中心とした地域に定住する、外国につながる子どもや若者が、基礎からしっかりと日本語を学び、ひいては社会的な自立を目指し、自分の将来の生活設計や社会参画に生かせるような質の高い日本語を学べる場としての日本語教室を運営する。また、親子間のコミュニケーションを高めるために親向けの日本語教室も併設する。そのために、地域の公的な機関や支援組織(日本語ボランティア教室や国際交流団体)と当団体との既存するネットワークを生かし、日本語指導者研修などの機会を利用して、互いに当該の若者の状況把握し、支援の連携協力体制を整備する。

3. 事業内容の概要

上記のような状況を踏まえ、神奈川県北部地域の交通の要であり、広範囲の地域から集える利便性の高い相模大野にある、相模女子大学の構内の多文化学習活動センターにおいて、日本語教室を週1回(土曜日)に開催したり、研修会・相談・情報提供など日本語教育のセンター的な役割を行う。
相模女子大学とは場所の無償提供や日本語教育を受講する学生のボランティア参加、准教授の太田先生が地域日本語教育コーディネーターとして中心的な役割をになっていただくような全面的な連携協力が得られている。その上で、豊富な人材やネットワークを生かし、本教室のボランティアをはじめ、本教室以外で活動している日本語指導者や学校で日本語指導に携わっている人などに対し、研修会を実施する。また、親子間のコミュニケーションのための日本語教材を作成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 9月25日 15:00~17:00	2:00	相模女子大学	佐藤教道 角田 淳 鈴木陽子 金崎悠衣 佐屋麻利子 高橋徹 西川富貴子 高橋清樹	I. 日本語教室の利用状況報告及び情報交換 II. 研修講座の実施報告 III. 教材作成にかかる意見交換 IV. その他	I. 日本語教室への参加希望(入室相談)が増えてきている。 今後も広報等の充実を図る。 II. 研修講座は実践的なもの7回と教材作成を3回実施する。 III. 教材作成については、昨年度の教材を継続し、若者が活きた日本語に接し、学ぶ意欲の高まるものにする。
2	平成27年 1月15日 15:00~17:00	2:00	相模女子大学	佐藤教道 角田 淳 鈴木陽子 金崎悠衣 佐屋麻利子 高橋徹 西川富貴子 高橋清樹	I. 日本語教室の利用状況報告及び情報交換 II. 研修講座の実施報告 III. 作成教材の報告及び意見交換 IV. 来年度の事業継続について V. その他	I. 今年度の活動をスライドで報告し、協議した。秋以降新規の学習者が増えた。日本語指導補助の学生ボランティアの参加も増え、安定した教室運営ができた。 II. また、日本語研修の状況や日本語教材を見ながら改善点なども話し合った。 III. 来年度の事業に関して、継続する方向でいかに協議した。

5. 日本語教育の実施

- 講座名称 【在住する外国につながる若者と親子のための日本語教室(相模大野教室)】
- 目的・目標 県内北部地域には広く定住する外国につながる子どもや若者が住んでいるが、子どもや若者を対象とした十分な日本語学習ができていない状況にある。その結果、孤立し、社会参加が難しい者も少なくない。当教室では、若者の将来の自立した社会参加を見据えた初中級から上級に至る日本語教育の場や支援の拠点づくりを目的とする。
- 対象者 神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市など)に定住する外国につながる子どもや若者で、来日間もない者や日本語指導が必要な者とその親
- 開催時間数(回数) 82時間 (全 41回)
- 使用した教材・リソース 「みんなの日本語」、「みんなの日本語文型練習帳」、「かんじ大すき」、本事業による自主作成教材など

(6) 受講者の総数 74 人
出身・国籍別内訳

中国	15人	インドネシア	0人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。 アメリカ 4人、パキスタン 3人、ラオス 1人 ボリビア 2人、台湾 2人、アルゼンチン 1人
韓国	1人	タイ	3人	
ブラジル	5人	ペルー	6人	
ベトナム	6人	フィリピン	18人	
ネパール	4人	日本	3人	

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者
1	4月12日 10時～12時	2時間	相模女子大学	16	中国(1)、 フィリピン (4)、アメリカ (4)、ベトナム (4)、ペルー (1)、その他(1)	基礎日本語 力1 コミュニケー ション力1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
2	4月19日 10時～12時	2時間	相模女子大学	22	中国(4)、 フィリピン (7)、アメリカ (3)、ベトナム (3)、ペルー (1)、その他(4)	基礎日本語 力2 コミュニケー ション力2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中原岩夫 中村美香
3	4月26日 10時～12時	2時間	相模女子大学	17	中国(4)、 フィリピン (7)、アメリカ (3)、ベトナム (1)、ペルー (1)、その他(1)	基礎日本語 力3 コミュニケー ション力3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子	山口静香 中原岩夫 中村美香
4	5月10日 10時～12時	2時間	相模女子大学	24	中国(4)、 フィリピン (7)、アメリカ (4)、ベトナム (2)、ブラジル (1)、ペルー (2)、その他(4)	基礎日本語 力4 コミュニケー ション力4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
5	5月17日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20		基礎日本語 力5 コミュニケー ション力5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中原岩夫 中村美香
6	5月24日 10時～12時	2時間	相模女子大学	22	中国(3)、 フィリピン (6)、アメリカ (2)、ベトナム (2)、ブラジル (1)、ペルー (2)、その他(6)	基礎日本語 力6 コミュニケー ション力6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
7	5月31日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(3)、 フィリピン (7)、アメリカ (1)、ベトナム (5)、ペルー (2)、その他(5)	基礎日本語 力7 コミュニケー ション力7	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中原岩夫 中村美香

8	6月7日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(3)、フィリピン(8)、ベトナム(4)、ペルー(2)、その他(4)	基礎日本語力8 コミュニケーション力8	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	中原岩夫
9	6月14日 10時～12時	2時間	相模女子大学	22	中国(2)、フィリピン(10)、アメリカ(3)、ベトナム(3)、ペルー(1)、その他(4)	基礎日本語力9 コミュニケーション力9	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
10	6月21日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(2)、フィリピン(8)、アメリカ(3)、ベトナム(3)、ペルー(1)、その他(3)	基礎日本語力10 コミュニケーション力10	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
11	6月28日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(7)、フィリピン(8)、ベトナム(3)、ペルー(1)、その他(4)	基礎日本語力11 コミュニケーション力11	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香
12	7月5日 10時～12時	2時間	相模女子大学	26	中国(5)、フィリピン(9)、アメリカ(4)、ベトナム(4)、ブラジル(1)、その他(3)	季節を知らう(七夕)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香 中原岩夫
13	7月12日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(5)、フィリピン(8)、アメリカ(4)、ベトナム(4)、ブラジル(2)、その他(4)	基礎日本語力12 コミュニケーション力12	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
14	7月19日 10時～12時	2時間	相模女子大学	28	中国(7)、フィリピン(11)、アメリカ(4)、ベトナム(2)、ブラジル(1)、その他(3)	基礎日本語力13 コミュニケーション力13	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香 中原岩夫
15	8月28日 10時～12時	2時間	相模女子大学	11	中国(3)、フィリピン(7)、アメリカ(1)	基礎日本語力14 コミュニケーション力14	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香

16	8月29日 10時～12時	2時間	相模女子大学	14	中国(3)、 フィリピン (6)、アメリカ (1)、ベトナム (2)、その他(2)	基礎日本語 力15 コミュニケー ション力15	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
17	8月30日 10時～12時	2時間	相模女子大学	25	中国(4)、 フィリピン (10)、アメリカ (3)、ベトナム (3)、その他(5)	基礎日本語 力16 コミュニケー ション力16	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香 中村美香
18	9月13日 10時～12時	2時間	相模女子大学	36	中国(11)、 フィリピン (10)、アメリカ (3)、ベトナム (3)、ブラジル (3)、ペルー (2)、その他(4)	基礎日本語 力17 コミュニケー ション力17	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
19	9月20日 10時～12時	2時間	相模女子大学	28	中国(8)、 フィリピン (11)、ベトナム (1)、ペルー (3)、その他(5)	基礎日本語 力18 コミュニケー ション力18	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
20	9月27日 10時～12時	2時間	相模女子大学	36	中国(8)、 フィリピン (12)、アメリカ (4)、ベトナム (3)、ブラジル (1)、ペルー (4)、その他(4)	考えてみよう (携帯電話)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
21	10月4日 10時～12時	2時間	相模女子大学	36	中国(6)、 フィリピン (15)、アメリカ (4)、ベトナム (1)、ブラジル (3)、ペルー (3)、その他(4)	基礎日本語 力19 コミュニケー ション力19	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香
22	10月11日 10時～12時	2時間	相模女子大学	24	中国(5)、 フィリピン (7)、アメリカ (4)、ベトナム (1)、ブラジル (1)、ペルー (2)、その他(4)	基礎日本語 力20 コミュニケー ション力20	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕	山口静香
23	10月18日 10時～12時	2時間	相模女子大学	22	中国(6)、 フィリピン (10)、ベトナム (1)、ペルー (1)、その他(5)	基礎日本語 力21 コミュニケー ション力21	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫

24	10月25日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(3)、 フィリピン (9)、アメリカ (3)、ペルー (3)、その他(3)	基礎日本語 力22 コミュニケー ション力22	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
25	11月1日 10時～12時	2時間	相模女子大学	27	中国(9)、 フィリピン (7)、アメリカ (3)、ブラジル (1)、ペルー (3)、その他(4)	基礎日本語 力23 コミュニケー ション力23	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
26	11月8日 10時～12時	2時間	相模女子大学	19	中国(4)、 フィリピン (6)、アメリカ (1)、ベトナム (1)、ペルー (4)、その他(5)	基礎日本語 力24 コミュニケー ション力24	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	
27	11月22日 10時～12時	2時間	相模女子大学	29	中国(6)、 フィリピン (15)、アメリカ (2)、ベトナム (2)、ペルー (4)	基礎日本語 力25 コミュニケー ション力25	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
28	11月29日 10時～12時	2時間	相模女子大学	28	中国(6)、 フィリピン (10)、アメリカ (2)、ベトナム (2)、ペルー (4)、その他(4)	基礎日本語 力26 コミュニケー ション力26	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口静香
29	12月6日 10時～12時	2時間	相模女子大学	29	中国(3)、 フィリピン (12)、アメリカ (3)、ベトナム (1)、ペルー (3)、その他(7)	基礎日本語 力27 コミュニケー ション力27	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	
30	12月13日 10時～12時	2時間	相模女子大学	18	中国(6)、 フィリピン (5)、ベトナム (1)、ペルー (4)、その他(2)	基礎日本語 力28 コミュニケー ション力28	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	
31	12月20日 10時～12時	2時間	相模女子大学	31	中国(6)、 フィリピン (12)、アメリカ (4)、ベトナム (2)、ブラジル (2)、ペルー (2)、その他(3)	基礎日本語 力29 コミュニケー ション力29	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香

32	1月10日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(9)、 フィリピン (3)、アメリカ (3)、ベトナム (1)、ブラジル (2)、ペルー (4)、その他(1)	基礎日本語 力30 コミュニケー ション力30	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
33	1月17日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(5)、 フィリピン (6)、アメリカ (4)、ベトナム (0)、ブラジル (1)、ペルー (2)、その他(2)	基礎日本語 力31 コミュニケー ション力31	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
34	1月24日 10時～12時	2時間	相模女子大学	27	中国(6)、 フィリピン (8)、アメリカ (4)、ベトナム (1)、ブラジル (2)、ペルー (3)、その他(3)	基礎日本語 力32 コミュニケー ション力32	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
35	1月31日 10時～12時	2時間	相模女子大学	29	中国(10)、 フィリピン (8)、アメリカ (1)、ベトナム (1)、ブラジル (2)、ペルー (3)、その他(3)	基礎日本語 力33 コミュニケー ション力33	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
36	2月7日 10時～12時	2時間	相模女子大学	32	中国(11)、 フィリピン (8)、アメリカ (3)、ベトナム (1)、ブラジル (2)、ペルー (4)、その他(3)	基礎日本語 力34 コミュニケー ション力34	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫
37	2月14日 10時～12時	2時間	相模女子大学	33	中国(8)、 フィリピン (10)、アメリカ (4)、ベトナム (2)、ブラジル (2)、ペルー (4)、その他(3)	基礎日本語 力35 コミュニケー ション力35	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香
38	2月21日 10時～12時	2時間	相模女子大学	18	中国(4)、 フィリピン (7)、アメリカ (1)、ベトナム (2)、ペルー (1)、その他(3)	基礎日本語 力36 コミュニケー ション力36	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
39	2月28日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(7)、 フィリピン (7)、ベトナム (2)、ペルー (3)、その他(4)	季節を知らう (雑祭り)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫

40	3月7日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(5)、フィリピン(6)、アメリカ(1)、ベトナム(1)、ペルー(2)、その他(5)	基礎日本語力37 コミュニケーション力37	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫
41	3月14日 10時～12時	2時間	相模女子大学	22	中国(5)、フィリピン(8)、アメリカ(3)、ベトナム(1)、ペルー(1)、その他(4)	防災について考えよう	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす。また、簡単な会話を楽しむ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつける。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	山口静香 中原岩夫

(8) 受講者の募集方法

広報チラシを下記のような団体に送った。

国際交流協会、中学校、高校、教育委員会、大学、日本語教室、学習支援教室など

チラシは別添

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)別添

(10) 目標の達成状況・成果

震災後、新たに来日する家族とその子どもが増えてきており、今年度も相談件数も80件を超えた。

また、学習者の総数は993名で昨年度より約150名増えた。日本語指導をレベル別にグループ化し、指導者と補助者(学生ボランティア、研修受講者)がグループ内で密に情報交換や相談を取れるようにしたため、学習者も安定して教室に参加した結果と思われる。

神奈川県中央部にはそうした子どもたちが学ぶ場所は少なく、本教室にわらをもすがる気持ちでやってくる家族も多い。

そうした中で、地域の中で日本語を学びたいという切実な声に少なからず応えられたと考える。

(11) 改善点について

多様なニーズに応えるためにはさらに日本語指導者や補助者と情報交換や連携、さらには研修などのスキルアップを図る必要があると考える。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 定住する外国につながる子どもや若者の日本語教育支援の方法と課題
- (2) 目的・目標
大学との連携において、日本語教育の人材育成・研修を学生ボランティアや地域のボランティア希望者向けに行う。本事業の日本語教室運営事業を生かし、対象となる若者の状況や日本語教育の実践と課題を中心とした実践的な研修とする。
- (3) 対象者
本事業の日本語教室でボランティアをしているまたはボランティアを希望する学生。地域のボランティア教室で日本語支援をしているボランティア。学校関係者など
- (4) 開催時間数(回数) 30時間 (全10回)
- (5) 使用した教材・リソース
「みんなの日本語」、「みんなの日本語文型練習帳」、「かんじ大すき」、本事業による自主作成教材など
- (6) 受講者の総数 32人
出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	0人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	0人	タイ	0人	
ブラジル	0人	ペルー	1人	
ベトナム	0人	フィリピン	2人	
ネパール	1人	日本	25人	

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	6月7日 13時～16時	3時間	相模女子大学	10人	日本人 (10)	語彙の使い分けとその教授法1	語彙の違いを学習者にわかりやすく説明する方法 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	佐屋麻利子 山口静香	
2	6月14日 13時～16時	3時間	相模女子大学	8人	日本人 (8)	漢字指導のポイント1	講座1の実践について、グループで話し合い、どこが難しかったかを整理する。そのうえで、講師が助言する。漢字指導にあたって注意する点や工夫した方が良い点などを学び、次回の教室で実践的に学習者に対して指導してみる。	藤井美香 山口静香	
3	6月21日 13時～16時	3時間	相模女子大学	10人	日本人 (10)	漢字指導のポイント2	講座2の実践について、グループで話し合い、どこが難しかったかを整理する。そのうえで、講師が助言する。前回の講座を受けて、漢字指導にあたって必要な知識を確認する。次回の教室で実践的に学習者に対して指導してみる。	藤井美香 山口静香	
4	9月20日 13時～16時	3時間	相模女子大学	14人	日本人 (14)	語彙の使い分けとその教授法2	講座3の実践について、グループで話し合い、どこが難しかったかを整理する。そのうえで、講師が助言する。前回の語彙の講座を受けて、さらに語彙の活用法を学習者にわかりやすく説明する方法を知り、次回の教室で実践的に学習者に対して指導してみる。	蔡金燕 山口静香	
5	9月21日 13時～16時	3時間	相模女子大学	12人	日本人 (12)	文法の指導法について1	講座3の実践について、グループで話し合い、どこが難しかったかを整理する。そのうえで、講師が助言する。「みんなの日本語文型練習帳」や自作教材を用いて、わかりやすく、文法を教える指導法について学び、次回の教室で実際に指導してみる。	蔡金燕 山口静香	
6	11月29日 13時～16時	3時間	相模女子大学	14人	日本人 (10) 中国(1) ネパール(1) フィリピン(1) 台湾(1)	「親の思いを知ろう」～親子のコミュニケーションの課題～ 講師：県立国際言語文化アカデミア 梅田玲子先生 講座では、親子のコミュニケーションの課題を梅田玲子先生に講義していただき、参加している親から親の立場で思いを語ってもらう。 パネルディスカッション・・・親からの思いを語ってもらう ワークショップ・・・日本語指導の中でどうアプローチできるか考えよう	佐屋麻利子 蔡金燕 梅田玲子	武一美 山口静香	

7	12月13日 13時～16時	3時間	相模女子大学	12人	日本人 (9) 中国(1) ペルー(1) フィリピン (1)	「親子のコミュニケーション教材」～どんな教材があるのか～ 講師：県立国際言語文化アカデミア 梅田玲子先生 ワークショップ・若者に対するヒアリング 講座では、親子のコミュニケーションを講師から紹介してもらう。そして、子どもの立場で親子のコミュニケーションについて若者に語ってもらう。	佐屋麻利子 梅田玲子	武一美 山口静香
8	1月10日 13時～16時	3時間	相模女子大学	7人	日本人 (7)	「親子のコミュニケーション教材を使ってみよう」～教材の実践～ 講師：早稲田大学非常勤講師 武一美先生 ワークショップ・教材を使って実践してみよう 講座では、本事業で作成中の教材を基に実際に学習者、指導者の立場になって教材を使った時を想定してグループワークする。	佐屋麻利子 梅田玲子 武一美	山口静香
9	2月7日 13時～16時	3時間	相模女子大学	18人	日本人 (18)	文法の指導法について2 講座4の実践について、グループで話し合い、どこが難しかったかを整理する。そのうえで、講師が助言する。「みんなの日本語文型練習帳Ⅱ」や自作教材を用いて、わかりやすく、文法を教える指導法について学ぶ。	藤井美香 山口静香	
10	2月14日 13時～16時	3時間	相模女子大学	16人	日本人 (16)	まとめ 講座を通して学んだことや実践しことをグループで話し合い、まとめる グループごとに発表する	佐屋麻利子 藤井美香 山口静香 蔡金燕	

(8) 受講者の募集方法

広報チラシを下記の様な団体に送った。

国際交流協会、中学校、高校、教育委員会、大学、日本語教室、学習支援教室など
チラシは別添

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)別添

(10) 目標の達成状況・成果

7回は学生を中心とした日本語ボランティアを募集し、実践的な研修講座を行った。それぞれの日本語学習グループに所属しながら、研修講座と実践としてのボランティア活動を繰り返したことで、ボランティアとして達成感が得られたという声が多かった。3回の「親子のコミュニケーション」に関する研修は参加者が少なかったが、中身の濃い研修となった。特に参加した外国につながる親が切実に子どもとのコミュニケーションの難しさや苦勞を語ってくれたことが、参加者との共感を得て日本語学習の場で生かす必要性が確認された。

(11) 改善点について

「親子のコミュニケーション」教材の活用について、教室や研修講座の中などで利用し、改善を図った。学習者の声をもっと拾い上げて、教材に活かしていきたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 親子のコミュニケーション教材

(2) 対象 外国から来て日本の学校で勉強している生徒の親。日常的な会話レベルは可能だが、子どもの通う学校等での会話に自信がない親、特に母親。

(3) 目的・目標

- ① 地域の日本語教室において、本教材を親と支援者の間において気軽に話しながら、日本での生活や子どもの教育に必要な情報を知ったり、子育ての悩みを共有することができるような場を作ること。
- ② ①の結果、子どもと親とのコミュニケーションが円滑に進むことをめざす。
- ③ 支援者に向けて、外国から来た親への日本語支援のバリエーションと方法の提供。

(4) 構成・総ページ数 58ページ

構成とページは以下の通りである。

0. はじめに (P0)
1. 子どもの成長と日本の行事 (P1-18)
2. 私の家族の言語生活 (P19-20) (言語ポートレート)
3. ケースから考える いろいろな家族・いろいろな考え方 (P21-41)
4. 話し方をアップ! (リフレーミング) (P42-47)
5. これまでとこれからを語る (P48-58)

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 8月13日 (水) 13:00～ 15:00	2時間	相模女子大学	佐屋麻利子、蔡 金燕 藤井美香、武一美 山口静香、高橋清樹	教材の具体的な内容と分担について検討	テーマ数と内容・ページ数、分担テーマ の係り決め
2	平成27年 3月23日 (月) 16:00～ 18:00	2時間	相模女子大学	佐屋麻利子、蔡 金燕 藤井美香、武一美 山口静香、高橋清樹	各自担当教材の読み合わせと検討	修正箇所の確定

(6) 使い方

本教材は、人と人の間に置いてコミュニケーションを生起させるための教材である。そのコミュニケーションのなかから、本教材の対象者がそれぞれ必要な情報を獲得することを目指している。したがって、本教材は、対象者が一人で使用するものではない。地域の支援者と対象者のペアや、グループで使うことが想定されている。5つのテーマがあり、その中にいくつかの活動がある。1から順番に使うのではなく、対象者に応じて必要な部分を選んで使用するモジュール型。

(7) 具体的な活用例 教材中に「支援者の方へ」を設け活用の仕方を具体的に説明している。

活用方法は、それぞれ以下の通り。

1. 子どもの成長と日本の行事

対象者と支援者がいっしょにページをめくりながら、それぞれの子どもの成長と共にある行事について話す。その際に、日本人支援者、対象者ともに自分や家族の写真を持ち寄り、あるいはインターネットの写真を見て、日本と自分の国の子どもの成長と共にある行事について、お互いの体験を話す。由来や歴史にフォーカスするのではなく、「何をするのか、したのか」という各自の具体的な体験を話すようにする。

2. 私の家族の言語生活 (言語ポートレート)

支援者も対象者も、人型に自分の持っている言語(日本語方言も含めて)を色分けして書き込み、各言語にコメントを記入する。

上記が完成したら、お互いに見せ合い説明する。そして各自の持つ言語資源を共有する。

3. ケースから考える いろいろな家族・いろいろな考え方

ケースを読んで理解してから「話しましょう」をする。

ケースは、自分で読んで理解することが基本だが、読むことが難しい対象者の場合は支援者が音読する、あるいは話すことで内容理解を進める。いろいろな考え方や体験の共有を目的とするので、可能であれば3-4人のグループで行うほうがよい。

4. 話し方をアップ! (リフレーミング)

支援者とペアで、あるいは3-4人のグループで、教材に書かれている手順に沿って、自分の言語生活を振り返り、マイナスの言葉をプラスの言葉に転換する。支援者もいっしょにする。

5. これまでとこれからを語る

ペアでもグループでもできる。ワークシートに沿って、段階的に自分のことを「話す」「書く」ことで、ひとまとまりの文へとつなげる。支援者は自分のことについて、いっしょに話しをするとよい。

(8) 成果物の添付

電子データで送付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等)を中心とした地域に定住する、外国につながる子どもや若者が、基礎からしっかりと日本語を学び、ひいては社会的な自立を目指し、自分の将来の生活設計や社会参画に生かせるような質の高い日本語を学べる場としての日本語教室を運営する。また、親子間のコミュニケーションを高めるために親向けの日本語教室も併設する。そのために、地域の公的な機関や支援組織(日本語ボランティア教室や国際交流団体)と当団体との既存するネットワークを生かし、日本語指導者研修などの機会を利用して、互いに当該の若者の状況把握し、支援の連携協力体制を整備する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

地域の日本語教育のセンター的な役割を得る意味でも3つの事業を通して地域の日本語ボランティアや支援者となつながら、交流できたことは大きな成果であると考ええる。

外国につながる若者の日本語や社会参加の支援という場が少ないこともあるが、指導経験の豊かなスタッフや当事者のスタッフが学習者の心の支えになっていると考える。参加者総数が昨年度より150名ほど増えたことから大きな成果が得られた。次年度以降はさらに学習者の声を拾い集めて、本教室の役割を確認したい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラムに基づいて作成した昨年度及び今年度の教材を日本語教室や研修講座の中で活用した。さらに、活用しながら改善していった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域からの見学や相談が増えてきたのも地域連携が広がっている成果と考える。

国際交流の広報誌や大学の広報誌で取り上げられることも増えてきた。

(5) 改善点、今後の課題について

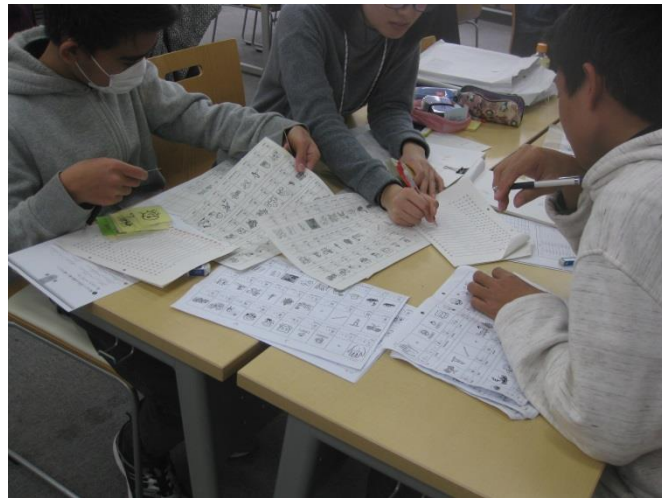
日本語補助をしてくれる学生ボランティアの継続的な確保が課題の一つである。学生に取ってはまたとない国際交流の場であり、日本社会で外国につながる若者が自立していく上でも学生の存在とその広がりには欠かせない。そうした意味でより学生募集や研修を効果的に行っていく必要があると考える。

(6) その他参考資料 別添

「添付資料」

【日本語教室の授業風景】

CEMLA教室の活動紹介



教室風景（日本語学習の様子）



「防災について考える」学習…クイズ形式で「地震が起きたらどうする？」など、非常食の試食や防災グッズの体験なども行った。



交流会（年3回実施）の後全員集合



相模女子大学の文化祭への参加
日本語学習の紹介、民族衣装展示など



研修講座（子どもの立場で、親子のコミュニケーションについての体験談発表）



研修講座（親子のコミュニケーション教材の実践）



研修講座（日本語指導の実践講座）



研修講座（親と子の言語ポートレート）

2014年度CEMLA教室の活動紹介



日本語学習の様子



「防災について考える」学習…クイズ形式で「地震が起きたらどうする？」など、非常食の試食や防災グッズの体験なども行った。



交流会（年3回実施）の後全員集合



相模女子大学の文化祭への参加
日本語学習の紹介、民族衣装展示など

ほうじん みーねっと がいこく わかもの
NPO法人ME-net※による外国につながる若者の

2014 年度版

にほんごきょうしつ
日本語教室

せむら
CEMLA のお知らせ

がくしゅうし えんきょうしつ

学習支援教室

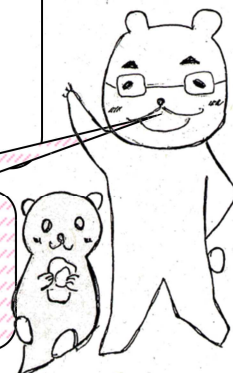
CEMLAスクール

まいしゅうどようび

毎 週 土曜日 10:00~12:00

だいがくせい

**大学生がおしえてく
れます。きてね!**



きょういくそうだん じょうほうていきょう

教育相談・情報提供

CEMLAルーム

まいしゅうどようび

毎 週 土曜日 9:30~12:30

む 料
無 料

ひと

こんな人に...

にほんご

日本語がわからない (外国につながる若者)

がいこく

せいと

にほんごきょうざい

外国につながる生徒のための日本語教材を知りたい(先生)

こうこう だいがく

高校や大学のことをよく知りたい (外国につながる若者)

こ

しんろ

がくしゅう

そうだん

子どもの進路や学習の相談をしたい (保護者)

ばしよ

場所は?

さがみじよしだいがく せむら

相模女子大学内CEMLAルーム (うらに地図)

れんらくさき

連絡先は?

Tel: 090-1102-4799

せむらたんとう

たかはし
高橋

うんえいだんたい

たぶんかきょうせいきょうい

運営団体: 多文化共生教育ネットワークかながわ (ME-net)

きょうりょくだんたい

さがみじよしだいがく

おうびりんだいがく

こくさいこうりゅう

協力団体: 相模女子大学・桜美林大学・さがみはら国際交流ラウンジ・県立国際言語文化アカデミア

こくさいこうりゅうざいだん

さがみはらせいりゅう

こうこう

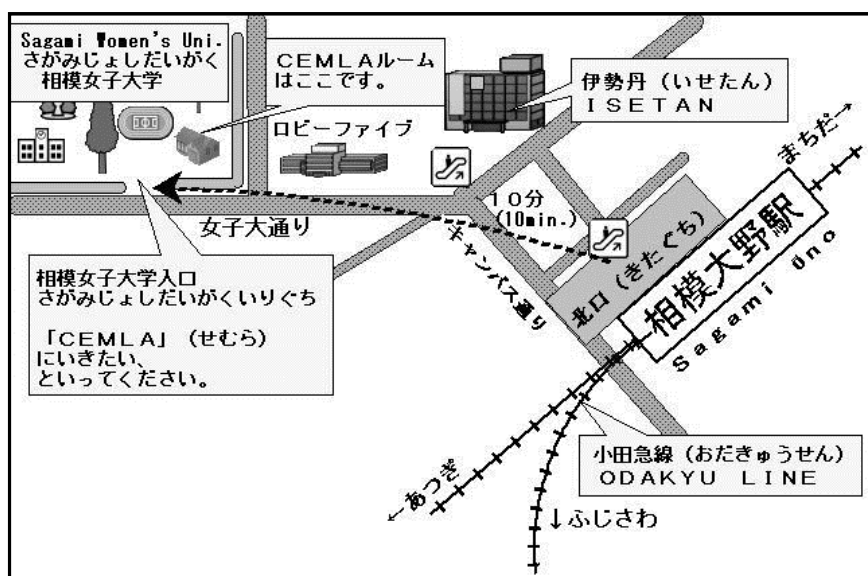
かながわ国際交流財団、相模原青陵高校

2014 年 4 月～2015 年 3 月の予定

まいしゅうどようび

毎週土曜日10:00～12:00

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5日 ×	3日 ×	7日 ○	5日 ○	夏の 集中 教室	6日 ×	4日 ○	1日 ○	6日 ○	4日 ×	7日 ○	7日 ○
12日 ○	10日 ○	14日 ○	12日 ○		13日 ○	11日 ○	8日 ○	13日 ○	10日 ○	14日 ○	14日 ○
19日 ○	17日 ○	21日 ○	19日 ○		20日 ○	18日 ○	15日 ×	20日 ○	17日 ○	21日 ○	21日 ×
26日 ○	24日 ○	28日 ○	26日 ×		27日 ○	25日 ○	22日 ○	27日 ×	24日 ○	28日 ○	28日 ×
	31日 ○			28日○ 29日○ 30日○			29日 ○		31日 ○		



れんらくさき
連絡先
Tel: 090-1102-4799
せむらたんとう たかはし
CEMLA担当 高橋

にほんごきょうしつ
日本語教室
CEMLAスクール

げんそく がいこく わかもの
原則、外国につながる若者12才～20才くらい

きぼう ほう よやく ひつよう さいしよ きょういくそうだん
希望の方は、予約が必要です。最初に「教育相談」

う ほごしや しえんしや いっしょき
受けてください。…（保護者か支援者も一緒に来て

ください）通訳が必要な場合はお知らせください。

CEMLA って??

Center for Multicultural Learning & Activities の頭文字

「多文化学習活動センター」の意味。「世界の村」の「せむら」と覚えてください。

※NPO 法人 ME-net 多文化共生教育ネットワークかながわ の略称



実践！日本語ボランティア 研修講座のお知らせ

日時	研修講座のテーマ	研修内容	講師(予定)
6月7日(土) 13時～16時	語彙の使い分けとその教授法1	語彙の違いを学習者にわかりやすく説明する方法	佐屋麻利子 山口静香
6月14日(土) 13時～16時	漢字指導のポイント1	漢字指導にあたって注意する点や工夫した方がよい点などを学ぶ	藤井美香 山口静香
6月21日(土) 13時～16時	漢字指導のポイント2	前回の講座を受けて、漢字指導にあたって必要な知識を確認する	藤井美香 山口静香
9月20日(土) 13時～16時	語彙の使い分けとその教授法2	1回目の講座を受けて、さらに語彙を定着させる指導法を学ぶ	蔡金燕 山口静香
9月21日(土) 13時～16時	文法の指導法について1	教材を使って文法の指導法の基礎を学ぶ	蔡金燕 山口静香
2月7日(土) 13時～16時	文法の指導法について2	文法の系統的な指導法を学ぶ	藤井美香 山口静香
2月14日(土) 13時～16時	まとめ	グループで講座で学んだことや実践してみたことを話し合い、まとめ、発表する	佐屋麻利子 藤井美香 山口静香 蔡金燕

Sagami Women's Uni.
さがみじょしだいがく
相模女子大学

CEMLAルーム
はここです。

伊勢丹 (いせたん)
ISETAN

ロビー・ポスト

バス停

0.1 km
(100m)

相模女子大学入口
さがみじょしだいがくいりぐち

「CEMLA」(せむら)
にいきなさい。
といってください。

相模駅
Sagami Station

小田急線 (おだきゅうせん)
ODAKYU LINE

ふじさわ

協力 相模女子大学、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、県立相模原青陵高校